

# 2019年度事業報告書

平成31(2019)年 4月 1日から令和2(2020)年 3月 31日まで

特定非営利活動法人 貨物鉄道博物館

## 1 事業の成果

NPO法人として設立十年目を迎えた今年度は、会員相互の努力によって、展示車両の修復作業を継続して実施した一方で、鉄道業者とも連携した様々な誘致活動を実施し、当館の活動をより広くアピールすることができた。当館の活動が広く認知されるようになったことから、遠方の小学生を含めた幅広い年代層のボランティアスタッフが集まるとともに、全国各地から寄付金も数多く寄せられるようになり、それらが事業継続の原動力となっている。

また、定例活動以外にも、有志ボランティアスタッフにより展示車両の塗装作業を精力的に実施し、貨物輸送に供された鉄道近代化遺産の保存の意義を広く一般に伝える役割を果たすとともに、当館鉄道車両の保存・修復活動の振興に成果を上げ、次年度以降もさらなる活動の充実が期待できる一年となった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
近代化遺産の修復技術の提供	展示鉄道車両の修復作業	随時	当館	10名	不特定多数の当館来館者	
本館の目的を達成するために必要な事業	収蔵品公開日の資料等提供事業	(定期公開) 毎月第1日曜日 午前10時から午後4時まで (臨時公開) 事前予約の団体向けに臨時開館	当館	30名	当日来館者約2,200名	

### (2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従業者の人数	支出額
該当なし					